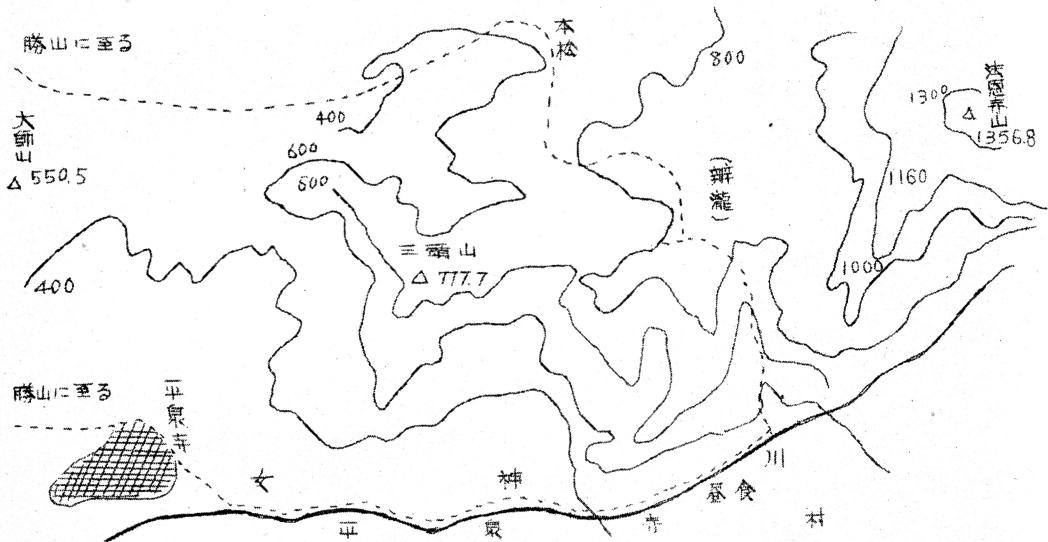


勝山市法恩寺山植物採集記

昭和29年11月7日に堀芳孝、荒川久兵衛、寒蝉義一の3名は島山城二氏の案内で博物館陳列用紅葉標本採集のため、法恩寺山方面に赴かけた。其の概説を報告する。

勝山で下車した一行は島山氏に迎えられ、バスで平泉寺着。こゝより女神川に沿って登る。今年の秋は好天に恵まれた。めか全山の紅葉は誠に美しく、これがこの山に多い安山岩の岩壁と対照して益々その美観を増し、しばしば採集の手を止める。殊にコマユミ、メマモジ、ナツヤタの眞紅、ハウチワカエデ、コハウチワカエデ、イタメカエデの橙色、イモノキ、コシアブラの黄色は美しい。この山にサルマメの見られることは、分布上注目すべきものと考える。



琵琶湖人夫宿泊所附近を昼食をすませ、之れより弁当を背負って小径を上る。この山の紅葉は美しいが、こゝから見える法恩寺山の中段以上は既に紅葉を過ぎ、枯葉及び落葉のようである。たゞダケカンバの白い樹齢の日光に照らされているのが印象的であった。途中で夜を覗く、渓木林を経て稜線（標高約1000m）へ出たのが午後3時頃であった。

次の日は短いので山頂を極めることをあきらめ一本松部落の方へ帰途を急いだ。部落へついた頃はすっかり日が暮れ、夜道を歩いて駅へたどりついたのは夕暮であった。この採集は季節外れであり、主目的は紅葉採集であるので、採集品は少いが、次のようなものが得られた。

平氣寺 — 棱線

ゴマオノコンギク、ユウガギク、イナカギク、シラヌマギク、メクシソウ、
ダンドボロギク、ママニガナ、アキノノゲシ、オメマボクチ、ホッコクアザミ、
テヨウジギク、アキノキリンソウ、オタカラコウ、アキギリ、アキチヨウジ、ク
ロバナヒキオコシ、ナタギリコウジ、ワカミドリ、ヒメジソウ、
ゴマギリ、ガマズミ、ミツマガマズミ、メブアマリ、タニウツギ、ヒメウツギ、
アカネ、オバナエムグラ、クルマムグラ、オバノヨツムグラ、ママムグラ、
ムラサキシキブ、オルリソウ、アケボノソウ、エゾイボタ、サワフタギ、
ホツツジ、ヤマツツジ、クマノミズキ、ミズキ、ママボウシ、シラネセンキュウ
シシウド、ヒサカキ、コシアブラン、イモノキ、フュズタ、キブシ、ユキツバキ、
ノウドウ、エビヅル、ママブドウ、サンカクズル、ツリフネソウ、ママモキジ
ハウチワカエデ、コハウチワカエデ、イタヌカエデ、ウリハダカエデ、
コマユミ、ムラサキマユミ、イマツヅ、ニカキ、マツカゼソウ、フジカシソウ
シモツケソウ、マルバマンサク、ハルユキノシタ、タニモンジソウ
タマアジサイ、タケニクサ、ミツマキケマン、クロモジ、タムシバ、ホホノキ、
シロダモ、シユウメイキツ、ハナタデ、イヌタデ、ミツツバ、マルバカンアフヒ、
ママアイ、ミズ、メシメアブシ、ヒメメシメアブシ、ナルマメ、オバギボウシ、
サイトカツ、アンボソ、チヂミガサ、アブラザサ、ドタシバ、ハイイヌガツ、チ
ヌボガツ、アカマツ、ミソシタ、ジユウモンジシタ、イヌシタ、ヒメワラビ、メ
ブソテツ、イワヘゴ、イヌワラビ、イワデンダ、

棱線附近（標高約1000m）

ハナヒリノキ、リョウブ、アカモノ、ミズキ、サワフタギ、イヌツヅ、ヒメモ
チ、アカミ人、イヌツヅ、フツキソウ、バツコヤナギ、カツ、

辞典参考書 一般書籍

品 川 書 店

福井市大名町 TEL 526番

藤原一一本松

オタカラコウ、センボンメリ、オバナメムグロ、ヒメムグロ、イワナシ、アカモノ、ウスギヨウラク、サイゴクミツバツジ、イワウチワ、オイワカガミ、コシアブロ、ユキツバキ、サルナシ、マタビ、ヤマウルシ、ヒツバカエデ、ミツバウツギ、ソヨゴ、マツブサ、ハルユキノシタ、アズキナシ、ナカマド、タムシバ、ブナ、サルマメ、スキ、リョウメンシタ、マンネンスギ、トウゲシバ、ホソバトウゲシバ、ヒカゲノカズラ。

足羽山採鳥会

5月23日河村多実二先生の御指導を頼いてオ一圓の採鳥会を足羽山で開いた。夜も明けきらぬい午前5時郷土博物館の前に集合、約80名

足羽神社のモミノ森にゴイサギ、アオザキが、たくさん集まっている夜明けの西の空をハシブトカラスが、静かに飛び茶屋附近にスバメの鳴き声が聞える。

博物館の前に集合している間に東の森でシジウカラが鳴き出した。先生の合図で一斉に静まり足音一つ立てないで、目をつむつて廻り入る姿は貴く思われた。コカワラヒワのやさしい声が聞えた。三段坂を通り北側の車道を進むサクラ、ヒノキ林でシジウカラが鳴いていた。奥の茶屋附近でホジロが木の枝の一番先端、四方が見渡される位置にとまって大きい声で鳴いている。同一鳥でも地方によって鳴き方に変化があるとの事で、この山のシジウカラ、ホジロは他の地方のそれに比較して大変豪傑であるとの先生のお話でした。33商店附近で突然ホトトギスが、又3声鳴いたときは、驚きヒヒ喜びとつかない表情で皆感激した。

6月頃まではラブソンクだそうである。坂道を下って行くと南側盡くの森でキジバト、キジが鳴いていた。カッコウ、エナガが北側の林で鳴いた様でした。夜も明け青い空を静かに、アオサギが飛んで行く。アオサギは飛ぶ時首を曲げて居るのが注意すべき点との事でした。

明るくなるにつれて多くの数と種類もあって行く。道を引き返した前の所でホトトギスが再び鳴いたのは幸いでした。ホジロ、シマウカラがよく鳴いている。